

令和5年12月7日 開会

令和5年 第4回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順 位	氏 名	件 名	頁
第1位	千葉 修一	1 移住・定住について	1
		2 不登校・ひきこもりについて	2
第2位	石森 晃寿	1 大衡村に進出するJSMC関連企業の誘致について	3
		2 冬季間における通勤・通学路等の融雪、除雪対策は、万全か	4
		3 国道45号上下堤地区の嵩上げ事業等について	5
		4 下福田・新田地区及び高松地区の県営ほ場整備事業等について	6
第3位	土井 光正	1 地域の子育て支援拠点の推進について	7
		2 J R 矢本駅前のトイレの改築を早急に実施せよ	8
		3 技能能力者を顕彰し若年技能者の人材育成を図れ	9
第4位	井出 方明	1 我が市における観光推進施策について	10
		2 野蒜海岸におけるビーチスポーツの今後の状況について	11
第5位	浅野 直美	1 合併20周年記念事業で更なる発展を	12
		2 コミュニティセンターの今後の管理運営について問う	13
		3 部活動地域移行による生徒の能力活性について	14
第6位	小野 幸男	1 市政運営の課題を問う	15
		2 教育についての今後の方向性について	16

順位	氏名	件名		頁
第7位	五野井 敏夫	1	中学校部活動の地域移行について	17
		2	野猪等の被害状況と対策について	18
		3	市特産品、生産品の開発補助金、奨励金の創設について	19
第8位	手代木せつ子	1	今後のスポーツ振興について	20
		2	本市の子育て支援対策について	21
第9位	阿部 秀太	1	10年先に思いを馳せて今を問う	22
第10位	大橋 博之	1	健康ポイント制度のデジタル化を図れ	23
		2	小中連携教育の取り組みについて	24
第11位	櫻井 政文	1	作田浦自治会集会所の整備について	25
		2	市政20周年行事と市史の編纂について	26
		3	奥松島「ベスト観光村」について	27
		4	起業家教育について	28
第12位	齋藤 徹	1	市内公共施設における電子申請の環境整備を	29
		2	ふるさと納税による財源確保の更なる強化を	30
第13位	阿部 勝徳	1	耕作放棄対策について	31

【質問者数 13人・質問件数 31件】

氏名	件名	要旨
第1位 千葉修一	1. 移住・定住について	<p>少子高齢化と人口減少が進み、多くの市町村が同様の問題を抱えるなか本市でも特色がある住みよい魅力的なまちづくりを通し移住・定住を増やす政策について伺う。</p> <p>(1) 様々な情報発信や支援を行っていますが、移住者の数値は伸びていないように思うが、今までの取組、成果及び課題について伺う。</p> <p>(2) 移住者が移住先での起業や仕事等について、様々な支援をする場が必要と思うが、その場を設置する考えはあるか伺う。</p> <p>(3) 移住者の生活環境を整える為に、鳴瀬地区に過疎債を利用して市営住宅を建設し、特定地域をつくることはいかがか。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
第1位 千葉修一	2. 不登校・ひきこもりについて	<p>本市における不登校は、小学生については、県平均、全国平均を下回っているが、中学生になると全国平均を上回っている。不登校は、ひきこもりへつながるとも言われている。このことから支援や防止に対する取り組みを伺う。</p> <p>(1) 30日以上の欠席者と101日以上の欠席者とその内無登校者的人数について伺う。また、その原因の把握と改善方法を伺う。</p> <p>(2) 協同的学びにより不登校が改善もしくは減少と言われているが、本市の状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 教育支援センターが開設されたが現在の利用状況と今後の支援の在り方について伺う。</p> <p>(4) 不登校は、ひきこもりへとつながると言われているが、進路等の課題がある生徒に対しての支援はどの様に行うのか伺う。</p>

【答弁を求める者 教育長】

氏名	件名	要旨
<u>第2位</u> 石森晃寿	1. 大衡村に進出するJSMC関連企業の誘致について	<p>11月15日の新聞によると、宮城県大衡村「第二仙台北部中核工業団地」に建設が予定される半導体製造工場を巡り、SBIホールディングスと台湾の半導体受託生産業者「PSMC」が出資する準備会社「JSMC」と宮城県、大衡村は11月14日、新工場の立地に向けた協定を結んだ。新工場の着工時期についてJSMCは、2024年後半を目指し、2027年に稼働を始め、自動車や産業機器向けの半導体を製造する予定になっていると報道されている。このことから、いずれ関連企業も進出してくると思われる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 雇用創出のため、関連企業の誘致を考えているか。 (2) 宮城県が「JSMC」及び関連企業誘致に向けた、担当「部署」を新設すると思われるが、本市の職員を派遣し、連携強化を考えているか。 (3) 関連企業を誘致する場合、受入用地の確保は、どのように考えているか。 (4) 関連企業の誘致合戦を勝ち抜くためには、現在の東松島市企業立地優遇条例を改正し、新たなインセンティブを盛り込む考えはあるのか。

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第2位</u> 石森晃寿	2. 冬季間における通勤・通学路等の融雪、除雪対策は、万全か	<p>立冬も過ぎ、冬至を迎えるようとしているが、冬至になると気温も下がり、路面の凍結や初雪も考えられることから、通勤・通学路等の融雪、除雪対策は、万全か伺う。</p> <p>(1) 市道の融雪・除雪の基準は、どのようにになっているか。又、小中学校、保育所、図書館、各市民センターを始めとする公共施設の駐車場・校庭等の融雪・除雪基準は、どのようにになっているのか。</p> <p>(2) 市道の融雪・除雪は、東松島市建設業協会に委託し、地区担当を決定しているのか。又、小中学校、保育所、図書館、各市民センターを始めとする公共施設の駐車場・校庭等の融雪・除雪も東松島市建設業協会に委託しているのか。</p> <p>(3) 三陸自動車道、国道45号、県道の融雪・除雪は、管理者が行うが、連携を密にしているのか。</p> <p>(4) 市道等の除雪をする場合、車道の雪が歩道側に押し出される傾向にあるが、その対策について、どのように考えているのか。</p> <p>(5) 市道の融雪・除雪予算は、十二分に確保されているのか。</p>

【答弁を求める者 市長、教育長】

氏名	件名	要旨
<u>第2位</u> 石森晃寿	3．国道45号上下堤地区の嵩上げ事業等について	<p>大雨による冠水防止対策として国道45号上下堤地区的嵩上げ事業、国道45号上下堤地区嵩上げ事業に伴って、交差する市道の拡幅事業、一級河川堤川拡幅事業、若針排水機場機能強化事業、上下堤・川下地区の県営ほ場整備事業の進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 国道45号上下堤地区的嵩上げ事業は、いつ頃から着手するのか。</p> <p>(2) 国道45号上下堤地区的嵩上げ事業に伴って、交差する市道等の拡幅事業は、いつ頃から着手するのか。</p> <p>(3) 上下堤・川下地区県営ほ場事業は、いつ頃から着手するのか。</p> <p>(4) 一級河川堤川拡幅事業及び若張排水機場機能強化事業は、いつ頃から着手するのか。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第2位</u> 石森晃寿	4．下福田・新田地区及び高松地区の県営ほ場整備事業等について	<p>下福田・新田地区及び高松地区のほ場整備事業については、毎年、宮城県に対し、早期の事業着手や事業採択に向け要望している。農業を取り巻く環境は、益々、厳しくなっていることから、市長の手腕が期待されているが、進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 下福田・新田地区は、市長の努力により、令和4年4月に県営ほ場整備事業として、事業採択されたが、いつ頃から着手するのか。</p> <p>(2) 高松地区ほ場整備事業については、受益面積が13haと狭隘なことから採択に向けて努力しているが、状況はどのようにになっているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p><u>第3位</u> 土 井 光 正</p>	<p>1. 地域の子育て支援拠点の推進について</p>	<p>こども家庭庁が本年4月に発足し、社会全体で子どもの成長を後押しすることになった。少子高齢化により人口減少に歯止めがかかる今、抜本的な対策を行う為に創設されたと認識している。本市でも、若い方の移住定住促進のための施策を検討しているが、核家族化が進んでいる中で魅力ある子育て環境の1つとして子育ての負担が過重にならない軽減策も重要であると考える事から、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 子育て支援センター「ほっとふる」については、施設内空間が狭いため、授乳やおむつ替え等のスペースを確保すると残された狭いスペースで、子ども達が動き回り、他の子どもとの接触による事故等を心配しながらの利用であると聞き及んでいる。このことから余裕のある施設としてスペースを拡張すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 乳幼児の兄弟がいる親子等幅広い年代層を対象とした児童館が本市では存在しない。子育ての合間にくつろげる親子の居場所を作ることも必要と考えるがいかがか。また、当面は、各市民センター等を移動児童館として活用することも考えられると思うがいかがか。</p> <p>(3) 政府は親の働き方を問わず時間単位で保育所などを利用できる「こども誰でも通園制度」を2025年度以降の本格実施に向け「本年度中の開始も可能となるよう支援を行う」と明示している。生後6ヶ月から2歳の未就園児を対象に、全国1,500の市町村で実施するとの方針だが、待機児童実質0の本市ではこのことを実現するための課題をどのように捉えているか。</p> <p>(4) 子どもの居場所づくりや子育て支援のボランティア団体等に運営を支援する体制はどのように行われているのか伺う。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第3位</u> 土井光正	2. J R 矢本駅前のトイレの改築を早急に実施せよ	<p>J R 矢本駅前の公衆トイレについては、老朽化し多目的トイレがないため利用者からの評判が悪く、改修について令和2年2月の定例会の一般質問でも取り上げていた。当時は、駅前の改修計画に合わせ多目的トイレを含む改築を行うとの回答を得ていた。</p> <p>J R 矢本駅は本市の顔となる駅であり、航空祭や夏祭り等のイベントで多くの来訪者が利用するところでもある。最近は、一部利用できないところもある。現在実施している矢本駅周辺地区都市再生整備の設計業務等において公衆トイレの設計を計画し、早急に改築工事の実施を行うべきと考えるがいかがか。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第3位</u> 土井光正	3．技能能力者を顕彰し若年技能者的人材育成を図れ	<p>先日行われた第3回産業祭は、天候に恵まれ多くの市内及び市外からの来訪者で賑わいを見せた。本市の基幹産業である農業、漁業を始めとする飲食・商店関係ブースも好評であった。</p> <p>体育館内で行われていた技能者のものづくりブースでの出店については、第1回目に比べ減少していたことが残念であった。畠職人、木工職人、金型職人等の技能能力者は、これまで地域に根ざし地域を支えてきた方々である。ものづくりの技能継承、ものづくり後継者の育成が社会変化の中で厳しい情勢となっていることを踏まえ、次の点について伺う。</p> <p>(1) 若者の技術離れが一層顕著化しているなかで技能労働者の地位向上を図り、若者が進んで技能者を目指す環境をととのえ、優れた技能を有する人材の育成を図るべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) これまで技能者として優れた商品を派出し、時代を担う若者にものづくりの大切さを伝授している方々を顕彰していくべきと考えるがいかがか。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<p><u>第4位</u> 井出方明</p>	<p>1. 我が市における観光推進施策について</p>	<p>人口減少の進む中、我が市にとって観光産業の振興は重要課題と考える。については観光推進施策について次の点を問う。</p> <p>(1) 第2次総合計画後期基本計画に係る「まちづくりの方向性」及び「政策」ごとの目標で、地域の資源を生かした観光の振興の目標値の達成状況（観光客入込数、観光客宿泊数、再来訪者の割合）及び目標達成のため今後どの様に進めていくのか。</p> <p>(2) 昨年は「世界の持続可能な観光地TOP100」、今年は「ベスト・ツーリズム2023」に奥松島地区が東北で初めて選ばれた。効果は直ちに現れるものではないかも知れないが、このチャンスをどの様に活かして行くのか。</p> <p>(3) 以前も質問した松島海岸との定期航路開設の進捗状況は、どの様な状況であるか。</p> <p>(4) 道の駅の開設にあたり、目的、コンセプト、ターゲット層及びターゲットを呼び込むための機能をどの様に考えているのか。</p> <p>(5) ブルーアインパルスの飛行場上空訓練を觀ようとしたところ、市の準備した駐車場が満車であり近傍における路上駐車が散見された。来訪者の話では「ホームページで予定された時間帯で天気が良い時は、ほぼ満車の状態である。」との事でした。駐車場を拡張する考えは無いのか。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第4位</u> 井出 方明	2．野蒜海岸におけるビーチスポーツの今後の状況について	<p>野蒜海岸をビーチスポーツに特化していく考え方を示されたなか、ビーチサッカー場の整備及び大会の誘致をしていく考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第5位</u> 浅野直美	1. 合併20周年記念事業で更なる発展を	<p>平成17年4月に矢本町と鳴瀬町が合併、新たに本市が誕生し、令和7年4月に市制20周年を迎える。合併記念事業と合併の象徴が必要と考えることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 今後、様々な事業を考案していると推察するが、5周年にはイメージソングが作られ、また東松島の自然を称える東松島讃歌も耳馴染みがあるが、20周年を機に30年50年と末永く親しまれる市民皆で歌える市歌を作る等、市民総参加の事業が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 本市の中央に在り、旧矢本町と旧鳴瀬町の間に位置し、市民が集う地域コミュニティ構築の場である滝山を位置づけ、合併の象徴として更に魅力ある場となるよう、春の桜と併せ四季を通じて花木が鑑賞できるよう提唱するがいかがか。</p> <p>(3) 滝山は桜の名所として知られ、今年春の滝山桜まつりには市内外から例年多くの方が足を運んでいるが、駐車台数が約50台と少なく、区画線が消えており、渋滞も発生していた。 また、中腹にあるトイレは薄暗く子どもや女性は利用しにくい状況となっている、夜間照明の設置と併せ多目的トイレを設置し、渋滞対策とトイレ整備が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(4) 滝山山頂に向かう市道滝山引沢3号線は、特に道地側から通行する車幅が狭く安全面から整備を望む声も多い。合併記念を機に、旧矢本町と旧鳴瀬町を繋ぐ市道として整備してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第5位</u> 浅野直美	2. コミュニティセンターの今後の管理運営について問う	<p>東松島市コムニティセンターは、昨年7月に防衛補助を含む約10億円の大規模改修工事を終え、新たな文化振興の拠点を担う当該施設であるが、今後の管理運営について、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 先日の地元紙によれば、当該施設の今年度での指定管理終了に伴い、来年4月からの管理運営は市が直営すると掲載されていた。 民間団体が指定管理することで、専門性や柔軟性を活かした事業の展開が期待されることから、指定管理から市の直営に移行することは、時代に逆行した体制ではないかとの声も掲載されていた。市が直営することの目的について伺う。</p> <p>(2) 市が直営することにより、市民がより満足する管理運営に努めるべきと考える。更なる市民サービスの向上に繋がるのかも含め、メリット及びデメリットを伺う。</p> <p>(3) 現在の指定管理料は、原則全額が消費税の課税対象となり納税をしているが、市が直接管理することにより全体でどの程度の経費縮減が見込めるのか、指定管理料と市直営の年間の比較を伺う。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<p><u>第5位</u> 浅野 直美</p>	<p>3．部活動地域移行による生徒の能力活性について</p>	<p>文部科学省では、中学校部活動の地域移行を本格的に進めているとしているが、全ての生徒にとって中学校生活3年間の部活動が目標達成や将来への夢を育てる大きな意義のある充実した時間となるよう地域移行を活用すべきであると思うが、以下について伺う。</p> <p>(1) スポーツ健康都市宣言を掲げる本市は、部活動を通して生徒が生涯にわたり、スポーツに親しむ能力や態度を育てることに効果的に地域移行を活用することを望まれる。全国ではモデル校として既に実践しているが、本市の具体的な構想や課題、進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 部員数が満たさず、学校単位での存続が困難な部が存在し、生徒の得意競技の選択が限られることが懸念される。既に剣道等は複数校による合同チームを編成していると伺っているが、他の競技についても可能とし、チーム東松島として柔軟に対応すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 宮城県中学校体育連盟は、新年度から中体連主催の大会に地域移行の受け皿となる地域スポーツクラブの参加を認めるとして、条件はあるが段階的に緩和する意向である。</p> <p>本市の中学生が、より意欲的に中体連主催各種大会に参加できるよう、本市から働きかけを行うべきと考えるが、教育長の考えを伺う。</p>

【答弁を求める者 教育長】

氏名	件名	要旨
<u>第6位</u> 小野幸男	1. 市政運営の課題を問う	<p>前回に引き続き、市政運営にかかわる課題等の4件について伺う。</p> <p>(1) 震災以降も度々発生する地震による本庁舎の修繕が繰り返されている。それでも雨漏りは依然と続き、雨が強く降るたびに、今度はどこから雨漏れするか危惧される状況である。今後の維持管理計画と将来的に必要となる新庁舎建設や基金の積み立てについて考えを問う。</p> <p>(2) 庁舎の3階には、市民のほか全国からの行政視察等で利用されているが、現在、3階男性トイレの臭いもきつく、おもてなしも含めた観点から改修の方向性を伺う。</p> <p>(3) 改正道路交通法の施行により、自転車に乗る際のヘルメット着用が、努力義務化となっていることから、ヘルメット着用率向上のため、購入費助成について伺う。</p> <p>(4) 市民センターの指定管理の在り方について、多方面よりいろいろと話を聞き各市民センターは、12月中に市直営か法人化を選択せよとの事である。今後の協働のまちづくりの方向性を伺う。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第6位</u> 小野 幸男	2. 教育についての今後の方向性について	<p>全国学力学習状況調査で、宮城県が残念ながら平均値を下回る結果が公表された。結果は結果として重く受け止め、今、何が必要であり何が足りないのかなど、今後の取り組みと方向性を鑑み、以下について伺う。</p> <p>(1) でめこんの成果と、児童・生徒の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 中学生の部活動の方向性として、先生方の働き方改革の一環としての外部委託による部活動指導も行われている。本来あるべき先生と生徒の部活を通したコミュニケーションも学校生活への大きな原動力の一助にもなっていると思料されるので、今後の在り方について伺う。</p> <p>(3) 今回、所管でもある民生教育常任委員会で4ヶ所の教育現場を視察してきた。土・日を利用した公設の学習塾や部活道を終了した中学3年生を対象にした週2回の公営塾の取組も研修でき、大変参考になる研修であった。本市においても、放課後の教室を利用した公営塾の開設等、学力向上の底上げの一助としての取組を希望するが、その考え方を伺う。</p>

【答弁を求める者 教育長】

氏名	件名	要旨
<u>第7位</u> 五野井 敏夫	1. 中学校部活動の地域移行について	<p>国の方針による教員の働き方改革に主眼を置いた中学校部活動の地域移行制度が施行されて半年が経過したが、その制度の本市における実施状況等について伺う。</p> <p>(1) 市内3中学校の実施状況はいかに。</p> <p>(2) 地域移行での利点と問題点はいかに。</p> <p>(3) 教職員の働き方改革の成果としてどう評価するか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第7位</u> 五野井敏夫	2．野猪等の被害状況と対策について	<p>昨今、鹿、猪、ハクビシン、熊、猿等による人的被害や農作物被害が全国的に話題となっている。また、その被害状況は毎年、増加の一途を辿っている。</p> <p>本市においても、野猪、ハクビシン被害が増加傾向にある。</p> <p>特に野猪は、東日本大震災被災後、徐々に発生している。現在では、鳴瀬地区、大塩地区と被害地域も拡大化している。よって以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 野猪等の被害の状況を把握しているか。 (2) 今後の対策はいかに。 (3) 防除、駆除対策を実施する場合、国、県、他市町村との連携が必要と思うが、本市の対応はいかに。

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第7位</u> 五野井 敏夫	3．市特産品、生産品の開発補助金、奨励金の創設について	<p>道の駅の開業が来年11月頃との見通しが立ち、大いに期待するところである。農産品の加工所、地場産品の販売、飲食物提供スペース、観光の拠点としての役割、災害時の一時避難所の機能としての役割等々、二重、三重に市民の期待が膨らむ反面、不安もあるのも否めない。</p> <p>特に物販において、野菜等の地場産品以外の販売品の確保など、品薄の懸念が持たれる。</p> <p>よって以下の点について提言するが、市長の考えはいかに。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民に公募して、市特産品、土産品の掘り起こしをしてはいかがか。 (2) 市特産品、土産品の作成アイディア、製作・製造に関して、様々な情報、各機関との連携が出来る場の提供について伺う。 (3) 市特産品、土産品の開発、製造に対する奨励金や補助金制度を創設し、事業の活性化を図ってはいかがか。

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第8位</u> 手代木 せつ子	1. 今後のスポーツ振興について	<p>新型コロナウイルス感染症も少しずつ落ち着きがみえる中、鷹来の森運動公園において、10月28日「第1回東松島市小学生オリンピック競技会」、そして11月26日には「第53回東松島クロスカントリー大会」が開催された。</p> <p>秋晴れの下、多くの参加者がそれぞれ自己ベストの記録を目指して頑張っていた。素晴らしい企画であったと思うが、次回の開催に向け、以下について伺う。</p> <p>(1) 「第1回東松島市小学生オリンピック競技会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 開催時期、種目、参加人数等、第1回目の成果と次回に向けた課題は。 ② 土曜日の開催で学校管理下外なのか先生方の参加は1名のみと認識している。児童の参加状況を先生方は把握しているのか疑問である。このことについての考えは。 ③ 開会式、閉会式の会場を同場所にする考えはないか。 ④ 800mも多目的グラウンドで実施してはどうか。 ⑤ 多目的グラウンドに観客席を設置する考えはないか。 <p>(2) 「第53回東松島クロスカントリー大会」への市民の参加者は全体の3分の2であった。スポーツ健康都市を宣言していることもあり、特に小中学生がもっと参加しやすい大会であることを望むがいかがか。</p>

【答弁を求める者 市長、教育長】

氏名	件名	要旨
第8位 手代木 せつ子	2．本市の子育て支援対策について	<p>全国的に人口減少が問題視されているが、このことは本市においても喫緊の問題である。11月1日より、令和6年度保育施設申込が始まり、それぞれの保育施設での受付は終了していると伺った。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 令和5年度の市内公立保育所待機児童は0人と伺っているが、年齢別にはどうなのがか。</p> <p>(2) 子育て支援を謳っている本市として、出産後の働く女性を支援するため、年度途中から0歳児を受け入れる手厚い策が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(3) 会派で根室市の子育て支援策を学んできたが、少子対策において思い切った支援策を講じていた。市独自の子育て支援として、①新生児1人につき出産祝金10万円を支給。また、②乳児が満1歳になるまで月額7,500円の乳児おむつ用品等の購入券を配布するというものであった。</p> <p>やはり、他の自治体と比べ抜きんでた市独自の支援策を講じるべきと思うがいかがか。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<p><u>第9位</u> 阿部 秀太</p>	<p>1. 10年先に 思いを馳せて今 を問う</p>	<p>少子高齢化や人口減少が進み、一方でデジタル化の進展等により、市の業務執行やコミュニティのあり方においても、今後10年先は様々に変容していくものと推察される。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 令和8年度からの次期総合計画策定に向けて、以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 多くの市民の参画を得る方向性及び方策はいかに。 ② 策定スケジュールはいかに。 ③ バックキャスティング型の行財政改革計画について、いかにとらえ考えるか。 <p>(2) DXの進展により、行政手続きのオンライン化やスマートオフィス化が進み、いわゆる行政のスリム化がなされていくと思慮する。次世代に適した新庁舎を検討すべき時と思慮するが所見はいかに。</p> <p>(3) 市民がテクノロジーを活用して地域課題解決を目指す取り組みとして、シビックテックと呼ばれる取り組みがある。行政のオープンデータを活用して、市民が様々な課題を解決していく取り組みであり、加古川市においては、市民の声を政策に反映させるデジタルプラットフォームを開設している。本市においてのシビックテックへの取り組みについて伺う。</p> <p>(4) 行政のスリム化が図られる中で、協働のまちづくりの一翼を担う地域自治組織等と行政の関わりが一層重要になっていくと思慮する。例えば、地域自治組織等を協議体と実行体に分離して存在させ、そのあり方を行政側からも助言し、事務局機能を高めるなど、今後の方向性についての考えはいかに。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第10位</u> 大橋 博之	1. 健康ポイント制度のデジタル化を図れ	<p>過去にこの件名について何回か質問しているが、現在の取り組み状況について伺う。</p> <p>(1) アプリを導入しデジタル化を図れと提案した際に研究させていただくと答弁いただいたが、どの程度検討したのか。</p> <p>(2) 高齢者の取り組み状況はどのようにになっているか。</p> <p>(3) 健康ポイントの交換アイテムはどの分野が好評なのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第10位</u> 大橋博之	2. 小中連携教育の取り組みについて	<p>小中一貫教育の先駆的自治体である須賀川市に会派研修で訪問した。</p> <p>本市では、小中連携教育に取り組まれているが、現状の成果として、どのような効果が出ているか伺う。</p> <p>(1) 「中1ギャップ」が社会問題化する中での本市の現状は。</p> <p>(2) 不登校といじめ事案の未然防止の効果は。</p> <p>(3) 教育委員会の支援体制について。</p> <p>(4) 保護者、学校運営協議会委員及び地域住民との協働連携について。</p> <p>(5) 9年間の学びの系統性や連続性の現状はどうか。</p>

【答弁を求める者 教育長】

氏名	件名	要旨
<u>第11位</u> 櫻井政文	1. 作田浦自治会集会所の整備について	<p>この件に関しては、令和4年第一回定例会で取り上げ、市長から前向きな回答をいただいた。</p> <p>新たな作田浦地区専用の集会所の建設候補地は、県営矢本下浦住宅にある老朽化した下浦集会所を取り壊して、その跡地に建設するのか。その場合、県側との調整はいつ行うのか伺う。</p> <p>また、新集会所の建設開始時期、駐車場予定地についても合わせて伺う。</p> <p>さらに、この件の進捗状況を地元住民に説明する機会を設けてほしいと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第11位</u> 櫻井政文	2. 市政20周年行事と市史の編纂について	<p>東松島市政施行20周年は、あと一年三ヶ月余となつた。大きな節目となる20周年を記念する事業は、大々的に行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>以前、私は東松島市史編纂について、議会で提言をした。市長は適宜な提言と賛同したが、その後、具体的な姿が中々見えてこないが、その進捗状況について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第11位</u> 櫻井政文	3. 奥松島「ベスト観光村」について	<p>この度、本市奥松島地域が国連世界観光機関（UNWTO）により、SDGsに沿った観光事業展開している観光地「ベスト・ツーリズム・ビレッジ2023」に東北で初めて認定された。国内では他に美瑛町、白馬村及び白川村が選定された。この事は誠に名誉であり、今後の観光政策の大きな弾みになると想定される。「宮城オルレ奥松島コース」を始め、自然環境重視の観光事業が評価されたものであり、市の政策努力に敬意を表したい。</p> <p>本市は、持続可能な観光の取り組みを世界に発信することで、今後は外国人の誘客が期待できるとしているが、課題がない訳ではない。この件についての展望を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第11位</u> 櫻井政文	<u>4．起業家教育について</u>	<p>生産年齢人口の減少、グローバル化、AIなどの技術革新などによって社会や職業のあり方が大きく変化している。</p> <p>また、高学歴で大手企業に就職してもリストラされる時代に、一体何を学ばせたら良いのかと思案してしまう。</p> <p>そこで、こどもたちに未来を切り開いて、人生を生き抜く力を育むのに資すると評価されているのが、起業家教育である。</p> <p>起業は世界では普通になっているが、日本では大学を卒業して起業する人はほとんどいない。起業は失敗のリスクもあるので、尻込みしてしまうのも理由の一つと考える。</p> <p>一方、アメリカや中国等からは、起業家が輩出していて、世界の経済を牽引しているのが、現状である。</p> <p>起業する人が少ない傾向にある日本の状況を開拓するためにも、また、起業も職業選択の一つであるということを知つてもらう意味でも、小中学生からの早期起業家教育の推進を願うものである。</p> <p>以前、一般質問で同じ質問を行ったが、時間を経てこの教育の重要性が益々増大してきていると思えるので、改めて起業家教育導入についての所感を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第12位</u> 齋藤 徹	1. 市内公共施設における電子申請の環境整備を	<p>本市における公共施設を利用する際の使用申請は、基本的に対面での申請となっているが、申請の時間帯は平日の日中であることから、使用者は昼休み等の時間をわざわざ割いて申請をしているのが実情である。</p> <p>デジタル推進課の創設に伴い、各課が連携して市民が不便と感じる状況を改善していくことが必要と考え、以下に問う。</p> <p>(1) ネット環境、スマートフォン、パソコン、タブレットといった環境や機器が整備されている現代において、公共施設利用のオンラインでの申請が普及しないのは時代の流れに沿わないと言わざるを得ない。申請方法を従来の対面での申請だけではなく、オンラインによる申請も可能にしてはどうか。</p> <p>(2) 使用予定者は各施設に申請をしている状況であるが、利便性向上のため、対面・オンラインに関わらず各施設の申請窓口を一本化してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<u>第12位</u> 斎藤 徹	2. ふるさと納税による財源確保の更なる強化を	<p>ふるさと納税に関する一般質問は千葉議員をはじめ多くの議員からなされているが、返礼品の牛タンの不足によるふるさと納税額の落ち込み等、様々な課題があることから以下に問う。</p> <p>(1) 本市の現在の返礼品を見ると、海苔や牡蠣といった冬場の海産物、ちぢみほうれん草をはじめとした農産物が推しの一品であることが伺えるが、航空祭等の観光のメインの時期の商品に乏しい。道の駅や令和の果樹の花里づくり等の本市観光に寄与する施設の整備が進んでいる現状から、オールシーズンにわたる魅力ある商品の開発が本市の様々な分野に波及していくと思うが、本市の見解と今後の方策を問う。</p> <p>(2) 石巻市では、ふるさと納税推進課が設置されているようだが、これは財源確保に向けたふるさと納税の立ち位置を重要視しているように伺える。本市におけるふるさと納税に関する考え方、今後の財源確保へ向けた手法について伺う。</p>

【答弁を求める者 市長】

氏名	件名	要旨
<u>第13位</u> 阿部 勝徳	1. 耕作放棄対策について	<p>近年高齢化や、農業後継者の減少などにより耕作放棄地の拡大が懸念されている。以前の一般質問でも取り上げているが、特に山間部、本市では大塩地区にその傾向が見られる。また、水田活用の直接支払交付金の水張り要件の厳格化により、耕作放棄対策の一翼を担っていた農業法人による耕作が困難になると考えられる。</p> <p>以上のことから、これから本市の耕作放棄対策について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>